

科目名		単位数		対象年次	履修	開講回数	必要 面接時数	添削 指導回数
文学国語		前期	2	2年次	選択	12	3	6
		後期	2			12	3	6
使用教科書		東京書籍 701 文学国語						
科目の概要		近代以降の文学的な文章を教材にして、「思考力・判断力・表現力」等の感性・情緒の力を磨く科目です。深く共感したり、豊かに想像したりして、書いたり読んだ入りする内容です。						
年間 学 習 計 画	学習内容		主な学習のポイント			面接指導		添削課題
	・ 光の窓 ・ 雨月物語 ・ 山月記 (P8～P33)		○絵画に対する評価・印象の違いを理解し、文章表現から抜き出すことができる。 ○本文に掲載されている内容から必要な理由を選択することができる。 ○自分の幼少期を思い出し、夢中になった本の内容を答えることができる。			前期 1・2		No.1
	・ 窓 ・ 言葉を生きる ・ 詩と感情生活 (P34～P56)		○登場人物の気持ち、表現の違いを理解することができる。 ○本文に掲載されている内容が何の出来事を指しているかを理解できる。 ○自分の記憶に残っている風景を思い出し、答えることができる。			前期 3・4		No.2
	・ 山椒魚 ・ 沖縄の手記から (P58～P92)		○本文の内容を理解し要約したり当てはまる語を抜き出すことができる。 ○山椒魚の心情を理解し、適当なものを選択することができる。 ○悲惨な戦争を繰り返さないために具体的な行動を答えることができる。			前期 5・6		No.3
	・ 鋏 ・ 竹 ・ 永訣の朝 ・ 硝子の駒 ・ モードの変遷 (P94～P114)		○詩中の発言者を理解し、方言がどこで使用されているかを答えられる。 ○短歌の表現技法や句切れを理解し、自分の気持ちを表現することができる。 ○自分ならどのような行動をするかを想像することができる。			前期 7・8		No.4
	・ ころろ (P116～P148)		○段落構成を理解し正しい順に並べたり、比喩表現を理解し本文から抜き出せる。 ○内容を自分の生活に置き換えて、表現できる。 ○新たな結末を自分で考え表現することができる。			前期 9・10		No.5
	・ 文学のふるさと ・ 文学の未来 ・ 鞆 ・ あの朝 (P150～P188)		○筆者の考える「文学作品」を理解し、適語を記入できる。 ○本文の内容を理解し、正しい意味を選択肢から選択できる。 ○自分にとって「なくすことで好きになったあれこれ」が何かを考え答えられる。			前期 11・12		No.6
	・ 国語から旅立って ・ 書かれた風景の中へ ・ 檸檬 (P190～P216)		○指示語を的確に掴み、著者の心情に対する理解を深める。 ○言葉と文字の関係性を考え、比喩表現を理解し説明できる。 ○「話し言葉」と「書き言葉」の相違点を理解する。			後期 1・2		No.7
	・ コンビニの母 ・ 夏の姿 ・ 帰途 ・ 小諸なる古城のほとり ・ 金剛の露 ・ 平気		○筆者の独特な言い回しを的確に読み取り、現代社会の人間関係を掴む。 ○文語詩を深く味わい、韻文の表現とリズムを意識する。 ○人物像は立場の異なる解釈によって変化することを学ぶ。			後期 3・4		No.8
	・ 空っぽの瓶 ・ クレールという女 ・ 父と暮せば (P248～P290)		○抽象的な表現から具体的な事物をくみ取り、筆者の主張を理解する。 ○人間関係から生まれる葛藤を比較し、自我の変化を読み取る。 ○戦争の悲惨さと生きることを深く考える。			後期 5・6		No.9
	・ 舞姫 (P292～P328)		○登場人物の決意を本文中から抜き出すことができる。 ○主人公の性格を本文から推測し、理由を答えることができる。 ○自分が主人公の立場となった場合の人生を想像することができる。			後期 7・8		No.10
	・ 演技する「私」 ・ 映画の可能性のために (P330～P346)		○評論文で多用される語彙を学び、対立する概念を読解する。 ○慣用句の知識を深め、近現代の文学史を押さえる。 ○抽象的表現を読み解き、筆者の思考過程を掴む。			後期 9・10		No.11
	・ 葉桜と魔笛 ・ 蠅 (P348～P374)		○本文から登場人物の年齢を推察することができる。 ○本文から直喩表現を抜き出し、言葉の正しい意味を選択できる。 ○小説の登場人物になりきり、結末に対する考えを答えることができる。			後期 11・12		No.12
	評価 方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 添削課題（レポート） ・ 試験（テスト）						
単位 修得	・ 面接指導（スクーリング）は、前期・後期各3時間以上出席してください。 ・ 添削課題（レポート）を前期・後期各6回提出してください。 ・ 2年次で4単位修得します。							